

1 生産コストの低減

森林施業の集約化

○森林組合等の林業事業体を中心となって、森林所有者との受委託を促進し、間伐等の施業を集約化する、**森林経営計画の作成**をはたらきかけ

○森林経営計画に基づく**搬出間伐や路網整備の実施**、高性能林業機械の導入により、木材供給の低コスト化を促進

2 木材の安定供給

林業活動促進地区の認定

○森林経営計画対象森林を含む地区において、森林所有者や木材加工等の関係者が連携し、木材の計画的な伐採、安定供給に取り組む地区を**林業活動促進地区に認定**、産地形成を図る

3 木材の利用拡大

ブランド力強化

○林業活動促進地区から産出される良質な木材を、「おおさか材」認証制度により「**おおさか和泉材**」、「**おおさか河内材**」等として**ブランド化**

未利用材の有効活用

○小径木は、土木・建築用資材としての利用を拡大
○低質材や未利用材を、木質バイオマスとして利用するため、搬出集荷体制を整備

4 多様な担い手の育成

○森林経営計画のプランナーや作業道開設の技術者育成、現場作業員の技術力向上、大工・工務店の木造建築技術向上の研修等を実施するとともに、森林所有者の意欲を喚起し、後継者の参画・育成を図る



木材利用拡大に向けた取組み例

大阪府地域産材活用フォーラム

・川上から川下の関係者が連携して、安定的な木材供給、安心安全な木造住宅の提供、消費者への普及啓発等地域産材の利用拡大の取組みを進める

《フォーラム会員》
(一社)関西建設業協議会、(社)大阪府建築士会、(一財)大阪住宅センター、(社)大阪府木材連合会、大阪府森林組合、大阪府等 計15団体

一園一室木のぬくもり推進モデル事業



・保育園等における床や壁などの内装の木質化を促進
・子どもの育成環境への効果を検証し、「おおさか材」のブランドイメージの向上を図る

新たな木製品の開発等への支援

・耐震補強部材や木製サッシ等、民間事業者による木材を使った新たな製品の開発・普及に対して支援



ウィークエンドフォレスターによる間伐材等の共同収集



生産コストの低減と木材の安定供給

実行計画① 森林施業集約化による計画的な木材の搬出

■森林経営計画の策定面積
今後10年間で12,000haの策定を目指す
当面の目標として、平成24年度 800ha(見込み)
⇒ 平成28年度 5,000ha

実行計画② 木材の安定供給体制の整備

■林業活動促進地区の認定
平成24年度 2地区 ⇒ 平成28年度 12地区
(北摂・南河内・泉州東部地域で拡大)
■木材供給量
平成23年度 6,000m³
⇒ 平成28年度 21,000m³
(用材利用12,000m³ バイオマス利用9,000m³)

木材の利用拡大

実行計画③ おおさか材の利用拡大

■おおさか材認定事業者数
平成24年度 12事業者(見込み)
⇒ 平成28年度 16事業者

実行計画④ 未利用材の有効活用

■木質バイオマス利用量
平成23年度 1,250m³
⇒ 平成28年度 9,000m³

多様な担い手の育成

実行計画⑤ 森林施業プランナー等の人材育成支援

■森林施業プランナーの育成
平成23年度 7名 ⇒ 平成28年度 30名
■林業事業者の育成
平成23年度 8事業者 ⇒ 平成28年度 13事業者
■ウィークエンドフォレスターの参画促進
(集積土場の設定数)
平成23年度 1地区 ⇒ 平成28年度 8地区